

予選速報

5月14日(土) 天気：晴れ時々雨

◇震災の影響により約1か月遅れで開幕となったフォーミュラ・ニッポン。中嶋レーシングは、FN初参戦となる中嶋大祐と、昨年から引き続き小暮卓史で1年間のレースシーズンを戦う。

晴天に恵まれた予選日。朝のフリー走行では、小暮が3番手、大祐が10番手のタイムを叩き出し、予選に向け順調なスタートを切る。

今回の予選はノックダウン方式で行われた。ノックダウン方式の予選とは、Q1は全16台が出走し、上位12台がQ2へ進出。これの上位8台がQ3へ進出し、最終的にグリッドが決定する。

13時30分より開始されたQ1では、大祐、小暮ともに難なくQ2への進出を決める。しかし、Q2開始直前、小雨が降り始め、ウェット宣言が発表される。雨が強くなる前にタイムアタックをするため、セッション開始直後に2台ともにコースインするが、大祐は思うようなタイムアタックができず、11位で予選を終える。一方小暮は、小雨にも関わらず渾身の走りをみせトップタイムをマークし、Q3に進出。その後雨も止み、ポールポジションを目指してアタックするもトップと僅差の2番手グリッドで明日の決勝を臨むことになった。

◇コメント

チームディレクター：藤井 一三

「Q1は小暮、大祐とも順調にこなしQ2への進出を決めました。Q2開始直後に小雨が降り始めました。そのため予定よりも早くコースインしてタイムアタックさせることにしました。小暮はトップタイムでのQ3進出を決めましたが、大祐はうまくアタックのタイミングがとれずQ3進出を果たすことができませんでした。本人も悔しがっていますし、明日の決勝は頑張ってくれると思います。小暮のQ3は惜しくも2位で終わることになりましたが、もうすでに明日の決勝を見据えてセッティングと作戦を話し合っています。明日の決勝を楽しみにしててください」

#31 ドライバー 中嶋 大祐

「フリー走行で自分の足りない部分が変わり、それを着実に改善することができ、Q1の終了時点までは狙い通りにスピードを上げることができましたが、Q2のときに雨が降ってきて、少し注意しすぎてしまい攻めきることができませんでした。マシンには少なくともQ3まで進むことができるポテンシャルがあったのに非常に残念です。明日の決勝ではスタートでまず前へ進んでできるだけ上位に食い込みたいと思います」

#32 ドライバー 小暮 卓史

「予選はフリー走行からマシンセッティングを変更した結果、ポールポジションを狙えるマシンで戦うことができました。Q1に関しては、クルマの状態を確認しながらのバランス取りをメインに、Q2は雨が降ってきて2ラップ目にアタックをしましたが、セッティングの変更が功を奏してトップタイムでQ3に進出することができました。Q3はQ2の状態がよかったのでマシンのセット変更をせずに臨みましたが、路面がよくなったせいかマシンバランスが崩れてしまいました。自分のミスの影響もあったのですが、2番手は非常に悔しいです。マシンの状態はいいので、決勝でもそのパフォーマンスを発揮してくれると思うので、明日は優勝するのみです！」

◇明日の決勝は13時45分より38周回で行なわれます。